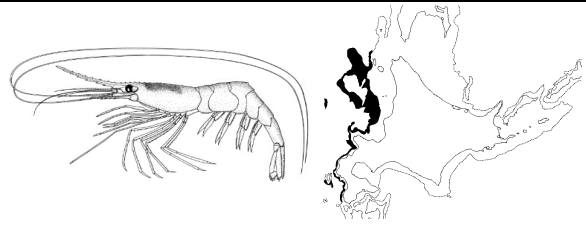


# 33.ホッコクアカエビ

主な漁業と漁期  
 えびかご：3～翌1月  
 えびこぎ網：主に12～翌3月



## 日本海海域

### 生態

#### ◆分布・回遊

日本海における主な漁場は水深200～600mの海域です。産卵期の産卵群は深海域、ふ出期の抱卵群は浅海域に分布する傾向があります。

#### ◆産卵期・産卵場

◎産卵期は4～5月頃です。抱卵期間は約10か月で、幼生のふ出期は2～3月です。

◎産卵場：水深350m以深の海域です。

#### ◆成長・成熟

(7月時点)

	甲長 (mm)	体重 (g)		甲長 (mm)	体重 (g)
1歳	9.6	0.5	6歳	26.6	12
2歳	14.5	1.7	7歳	28.3	12.6
3歳	18.5	3.6	8歳	29.8	16.6
4歳	21.8	5.8	9歳	30.9	16.4
5歳	24.4	8.1	10歳	31.8	20.3

\*) 甲長：1999～2011年の北洋丸えびかご調査結果より  
 \*) 体重：平成4年度稚内水試事業報告書の甲長-体重式から計算  
 \*) 6、8、10歳の体重は卵重量を含む体重  
 \*) 加齢の基準日：1月1日

#### ◎成熟年齢・甲長

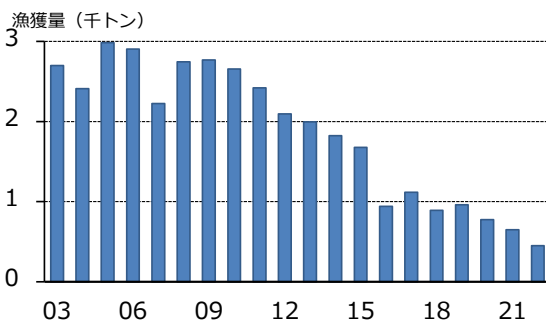
甲長25mm、5.5歳でオスからメスに性転換します。多くはおよそ甲長26mm前後、6歳で初めて産卵し、抱卵メスとなります。メスになってからは隔年で産卵します。

### 資源評価

[評価年] 1月～12月

[資源水準の指標] えびかごCPUE

2022年度の漁獲量は451トンと前年より減少し、資源水準は低水準と判断されました。えびこぎCPUEは依然として低く、調査船による深海ソリネット調査でも高豊度年級群の加入が見られていないことから、翌年度の資源動向は横ばいと判断されました。高豊度の加入が見込めないことや、CPUEが減少傾向であることから、今後の資源動向にはより注意が必要です。



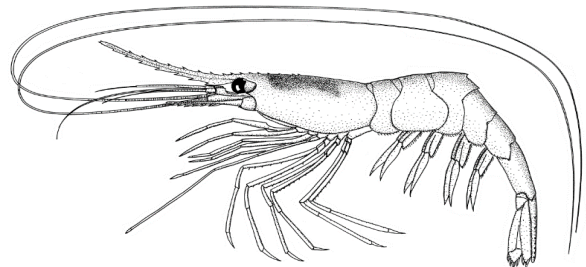
2022年度の水準 低水準

2023年度の動向 横ばい

### 資源の維持・増大のために！

#### 資源管理の現状(主なもの)

- えびかご漁業許可の条件等  
かご数や目合(10節)が制限されています。
- 若齢个体保護のため、天売沖の一部海域が、8月16日～9月15日の間、資源保護区とされています。



☆現在の取り組みを継続することが必要です。また、今後も低水準が続く場合、経営面も考慮したさらなる管理対策が必要と考えられます。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
 北海道立総合研究機構 稚内水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477  
 電話 0162-32-7166